

松本市芸術文化祭特別企画

83世界大会を迎える 鈴木慎一と才能教育'-1982.11.06

'83 世界大会を迎える

鈴木鎮一と才能教育



'82 **11/6** 土 2:00pm 開演
松本市民会館

主催 松本市・松本市教育委員会・松本市芸術文化祭実行委員会
後援 松本商工会議所・松本青年会議所・信濃毎日新聞社・NHK松本放送局・信越放送

プログラム

I 才能教育のあゆみ

II 講 演 中 嶋 嶺 雄

『教え子からみた鈴木先生』

III バイオリン演奏 江 藤 俊 哉

江 藤 アンジェラ

ピアノ伴奏 江 藤 玲 子

曲 目

1. ヘンデル (Händel)
合奏協奏曲 ト短調 作品6-6
2. ブラームス (Brahms)
バイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品100
3. ヴィエニアウスキ (Wieniawski)
エチュード・カプリース 作品18-2
4. クライスラー (Kreisler)
オールド・リフレイン
5. サラサーテ (Sarasate)
スペイン舞曲集よりホタ・ナバラ

IV 鈴木先生と子供たち

特別出演



中嶋 嶺 雄 東京外国語大学教授・評論家

昭和11年5月、松本市に生まれる。

昭和22年1月より松本音楽院にて鈴木鎮一氏に高校1年までバイオリンを師事。源池小、清水中、深志高校を経て、東京外国語大を卒業後、東京大学大学院で国際関係論を学び、社会学博士号の学位を受ける。現在東京外国語大教授。

今は、バイオリンとは別の方面に進んだが、現代中国の研究で国際的に活躍している。

昭和44年～46年、外務省特別客員教授として香港に派遣される。

昭和52年～53年、オーストラリア国立大学院客員教授、昭和55年、国立パリ政治学院客員教授として派遣される。



江藤 俊 哉 バイオリニスト

幼時より鈴木鎮一氏にバイオリンの手ほどきを受け、12歳で第8回音楽コンクール第1位入賞(文部大臣賞)。さらにモグリフスキー氏に師事し東京音楽学校(現東京芸大)卒業と同時に同校講師に迎えられた。1948年カーチス音楽院に入学、エフレム・ジンパリストの特別指導を受けて1952年卒業、同音楽院の教授となった。その間1951年にカーネギー・ホールでデビューし、日本人バイオリニストとしてはじめて国際的演奏家の地位を確定。1961年に帰国するまでのアメリカでの活躍はめざましいものであった。東京に居を移してからも、外国オーケストラとの協演やリサイタル、レコード録音など国際的な活躍が精力的につづけられている。

1979年、昭和53年度(第35回)芸術院賞を受賞。



江藤 アンジェラ バイオリニスト

アメリカ、ニューヨーク州生まれ。カーチス音楽院でイバン・ガラミアン氏に師事。同校教授であった江藤俊哉氏と1955年に結婚。カーチス音楽院卒業後、ニューヨーク、フィラデルフィアなどで演奏会を開き、日本各地でも夫妻で演奏会を開くほか、室内楽の分野で活躍している。



江藤 玲 子 ピアニスト

江藤俊哉の妹。14歳で毎日音楽コンクール2位入賞。レオ・シロタ、レオニード・クロイツァー氏に師事。東京音楽学校(現芸大)卒業後NHK交響楽団、クロイツァー指揮、ブラームス・ピアノ協奏曲でデビュー。リサイタル、オーケストラとの協演、ラジオ・テレビ等に数多く出演、更にカーチス音楽院に留学する。

現在、国立音楽大学、芸大で後進の指導にあたる。